

日本認知症本人ワーキンググループとは

日本認知症本人ワーキンググループ（JDWG）は、「認知症になってからも希望と尊厳を持って暮らすことのできる社会」を創り出すことを目的に活動を展開しています。

(<http://www.jdwg.org/>)



私たち認知症のある本人と、本人の活動目的に賛同されたパートナーの皆さんが、認知症の本人の「本人だからこそ経験・体験からの声」を発信して、ともにによりよく暮らすことのできる社会を創り出すことにチャレンジしています。

認知症とともに生きる希望宣言

一足先に認知症になった私たちからすべての人たちへ

- 1 自分自身がとらわれている常識の殻を破り、前を向いて生きていきます。
- 2 自分の力を活かして、大切にしたい暮らしを続け社会の一員として、楽しみながらチャレンジしていきます。
- 3 私たち本人同士が、出会い、つながり、生きる力をわき立たせ、元気に暮らしていきます。
- 4 自分の思いや希望を伝えながら、味方になってくれる人たちを、身近なまちで見つけ、一緒に歩んでいきます。
- 5 認知症とともに生きている体験や工夫を活かし、暮らしやすいわがまちを、一緒につくっていきます。

日本認知症本人ワーキンググループが2018年10月に発表

本リーフレットは、2019年度赤い羽根福祉基金助成をうけて作成しました。

office@jdwg.org

<http://www.jdwg.org/>

発行：一般社団法人日本認知症本人ワーキンググループ

発行日：2020年12月

希望のリレーハンドブック2019

赤い羽根
福祉基金

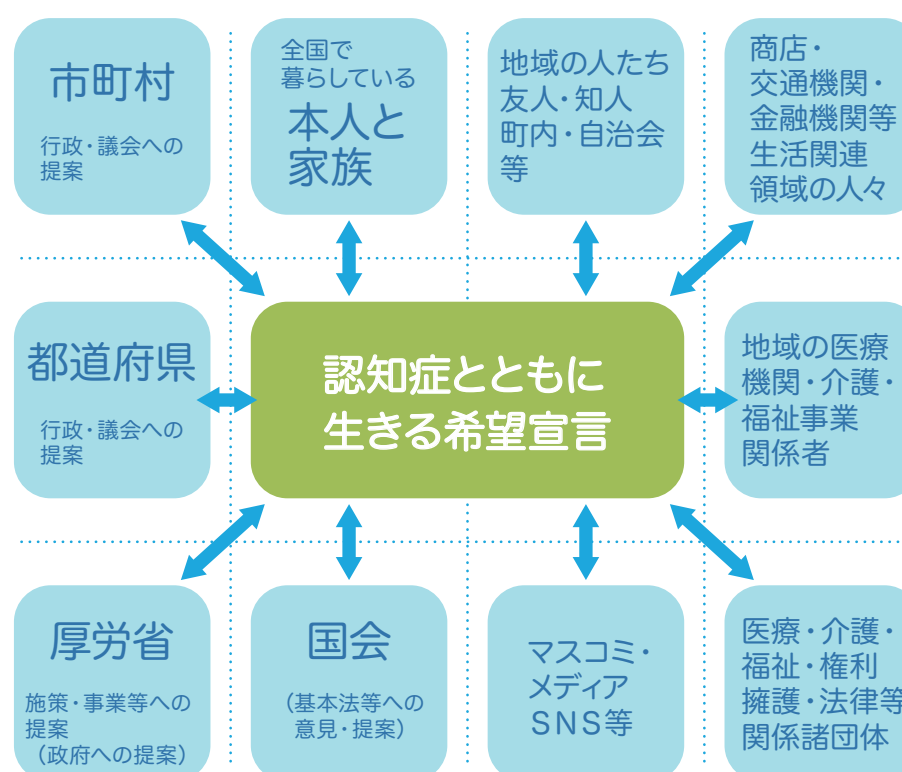


希望のリレーとは

- * 全国の認知症の本人に「希望宣言」を届け、希望を持って暮らしていく人を増やしていく。
- * さまざまな領域の人たちに「希望宣言」を届け、賛同・活動の輪を広げていく。
- * さまざまな領域で、認知症、認知症の人への見方・関わり方変えていく。

希望宣言をスタートに、私たちは今、「希望のリレー」を様々な人と一緒に進めています。自分も希望を持って暮らしていこうという人が一人でも多く増え、一緒によりよい社会を創っていこうという人の輪が広がっていくために、私たちも力を尽くしていきます。

全国各地で、様々な領域へ、様々なカタチで希望のリレーが始まっています



希望のリレー

ハンドブック
2019



日本認知症本人ワーキンググループ

希望のリレー：各地の取組み



※ホームページで各取組みの動画がご覧いただけます



○なじみの商店街の人たちと 大阪空堀商店街「デメンシア・タイムズストリート」 (2019年11月)



「住み慣れた町で暮らしたい」、「通いながれたなじみの商店街で、いつものように買い物をしたい」。
そんな思いを実現していくために、認知症の本人を始め、さまざまな立場の人たち、商店街を行きかう人たちと一緒に
2019年11月、商店街イベントを開催しました。

(希望宣言について)
いいな、これ。
自分もチャレンジ
したいわ



大事なのは病気の
ことではないと思う。
ふだんの暮らしが大事。
認知症があるなしに
関係なく。

○アクションをともしたみなさん

- ・地元の認知症の本人・家族
- ・空堀商店街振のみなさん
- ・若年性認知症の人と家族と地域の支え合いの会「希望の灯り」
- ・認知症予防サポート協会
- ・NPO法人高齢者外出介護の会
- ・ゆめ伴プロジェクトin門真実行委員会
- ・認知症フレンドシップクラブあべの事務局
- ・一般社団法人認知症予防活動コンソーシアム
- ・やんちゃ倶楽部
- ・高齢者ケアセンター向日葵
- ・花園大学の学生のみなさん
- ・認知症サポーターの会「きずな」
- ・スリーA関西
- ・当日、空堀商店街を訪れたみなさん

あなたのまちでも

○まちのいつもの取組みの中で、 さまざまな当事者と一緒に 北九州市「希望のリレーをあなたのまちでも」 (2020年2月)



「認知症とともに生きる希望宣言」をもとに、認知症の当事者だけではなく、難病や障がい者の当事者の方々も加わり、小地区にあるサロンの場などで「自分自身の希望」について話し合いを重ねて、2020年2月、フォーラム「希望のリレーをあなたのまちでも」を開催しました。



サロンの場で、
希望宣言に
ついて話し合う

「(希望宣言の)「認知症」という言葉は、多様に置き換えができるのではないかな。いろいろな人が自分の身近で起きていることを、(この宣言に照らして)考える機会になればいい。」

○アクションをともしたみなさん

- ・「認知症・草の根ネットワーク」と
その活動に参加するさまざまなみなさん
- ・NPO 法人老いを支える北九州家族の会
- ・北九州市認知症支援・介護予防センター
- ・北九州市・近隣市町のみなさん

今と未来を

○市やまちをこえた近隣の仲間と一緒に 多摩、八王子、町田「パワフルに活動している認知症 の本人たちからのメッセージを聴いてみよう！」 (2020年12月)



コロナ禍の影響で、これまであった集いや、つながりが薄れていく中、多摩地域の地元の本人たちと、近隣のまちの本人たち、そして本人の活動を応援する多くの方たちの努力・助力によって、2020年12月、フォーラムを開催しました。



フェイスシールドを一緒に準備



テーブルの消毒も“応援”

~感染防止の準備、対応でも本人が地元の人たちとともに活躍~

参加者からの
声

「皆さんからのメッセージに元気をもらいました。
コロナには負けない！いつもの日常を過ごしたい！」

○アクションをともしたみなさん

- ・まちのもの忘れ相談室 みらいの会（地元の本人活動団体）
- ・TAMA認知症介護者の会「いこいの会」
- ・DAYS BLG！はちおうじ
- ・八王子女子会（本人活動グループ）
- ・町田女子会（本人活動グループ）
- ・多摩市高齢支援課
- ・当日会場でお会いしたみなさん

いっしょに創ろう

